

ブロック工事用作業性向上混和剤

ニュー

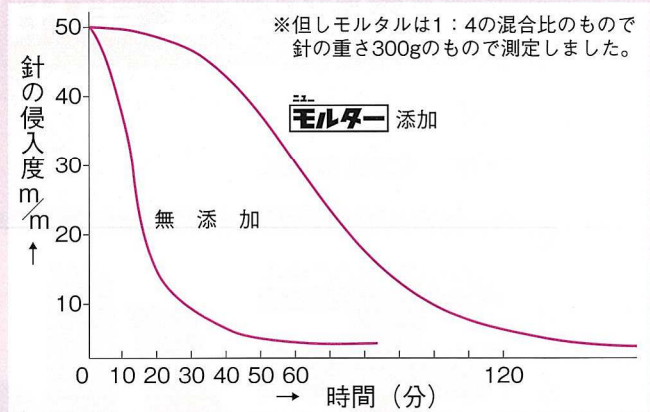
モルター



- ① ベタ付きが少ないモルタルとなります！
- ② ブロックのすわりがよくなります！
- ③ 目地切りのコテ滑りがよい！

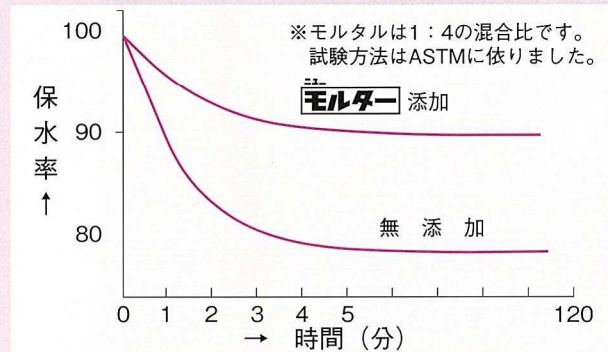
作業性

従来のセメントモルタルは、骨材(砂)の混合割合が多くなるに従って(1:3以上)可塑性や保水性及粘性が低下し、特にブロック工事で下地に多量の水が急速に吸収されるため、モルタルが固くなって作業性が悪くなります。**モルター**を加えますと上記の様な欠点が改良されますので、急激な下地への吸水を防ぎ、モルタルのこわばりを抑えますから、適度の軟度と粘性のある状態が続きます。又可塑性がある為のびがよくコテ滑りもよいので作業は非常に楽になり、**モルター**を入れた1:4の配合モルタルは**モルター**を入れない1:2.5のモルタルの作業性に匹敵します。又粘性がありますから貧配合のモルタルでも塗りつけ中に材料の塗りこぼれが少なくなります。吸水下地の表面でのモルタルのこわばりをおこす速度は右図通りです。



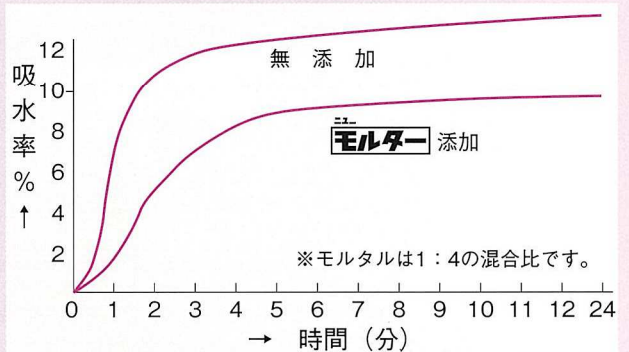
保水性

モルタルは骨材(砂)の混合割合を多くすると保水性は悪くなります。しかし**モルター**を加えますと、モルタルに粘性を生じ保水性が非常によくなり作業性を高めドライアウト防止などモルタルの性状が改善されます。保水試験の結果は次の通りです。



防水性

モルターを使用しますとモルタルのブリージング現象が小さくなり、骨材(砂)の間隙を十分にセメントノロで埋めることとなるため、均一で緻密なモルタルとなります。よって従来のモルタルの如く、毛細管現象による水の吸収、或いは水の浸透するのを抑制します。則ち、防水性が高まります。



混水量

モルターを使用すると混水量は著しく減少します。これは**モルター**の活性作用により適当量の空気が連行されるためモルタルの流動性が改善されて少ない混水量でも同じ軟度のモルタルとなるからです。混水量が減少することによってモルタルの収縮は少なくなり亀裂や肌分れを防ぐ大きな役目を果たします。

配合量

下 地	工 法	下塗り(セメント:砂)	上塗り(セメント:砂)
ブロック又はレンガ		1:3	1:4
コンクリート又は木毛セメント板		1:3	1:4
メタルラス		1:3	1:4
モルター 使用量 (セメント25kgに対して)		1 / 4 袋	1 / 2 袋

ペンキ下地は下塗り、上塗り共にセメント1:砂3に対してモルター1/4袋入れますと作業性良くノロ(アマ)も浮きます。

■ 荷 姿 1袋75g 1ケース150袋入り(75袋×2)

モルター の使用法及び施工上の注意

モルターは、必ずセメント・砂との空合せをした後、水を加えて、練り上げて下さい。

- 下地処理：下地の清掃を充分に行い、シーラー処理が塗り付け30分前の水打ちを行って下さい。
- 塗り付け：ド力付けをさせ、コテ圧をきかして均一に塗り付けて下さい。
- 養生：乾燥の激しい場合は、塗り付け後、当日又は翌日に散水養生をして下さい。
- 吸水の激しいALC板、ブロック・パネル工法下地には必ずシーラー処理をして下さい。
- 気温3℃以下での施工はさけて下さい。
- 強い直射日光や強風による急激乾燥はさけて下さい。

取扱い注意事項

- 水に濡れると大変滑りやすくなりますので、床にこぼれた場合は速やかに清掃して下さい。
- 目や口に入った場合は直ちに清水で洗って下さい。
- 吸い込んだ場合はうがい洗浄して下さい。
- 目的以外の用途には使用しないで下さい。

日藻五材株式会社

〒174-0043 東京都板橋区坂下2丁目13番18号
TEL.03-5392-1007(代) FAX.03-5392-1023